

つなげよう、支えよう森里川海プロジェクト パネルディスカッション

## NPO法人 森の生活 活動紹介

代表理事 麻生 翼



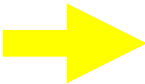


町面積：64,420ha

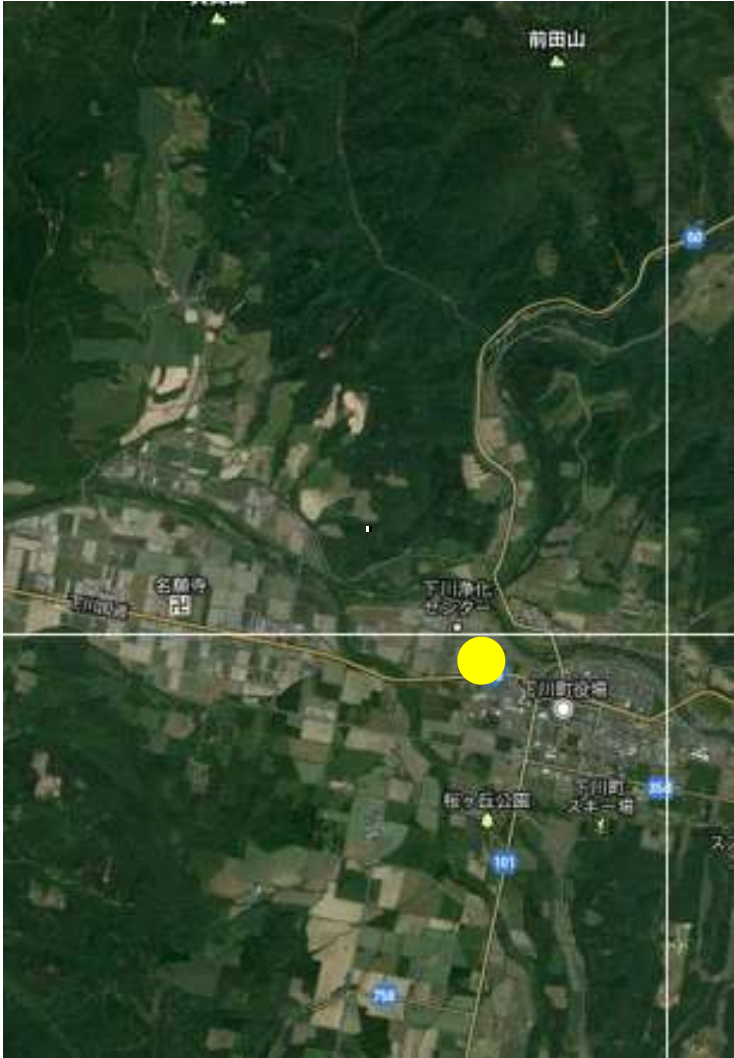
森林率：90%

人口：3,423人（2016.1.1）

# 愛知県名古屋市



# 下川町

















# 下川町の人口推移

下川町(に該当する地域)の人口の推移

1970年(昭和45年)	11,568人	
1975年(昭和50年)	9,275人	
1980年(昭和55年)	7,173人	
1985年(昭和60年)	5,730人	
1990年(平成2年)	5,065人	
1995年(平成7年)	4,747人	
2000年(平成12年)	4,413人	
2005年(平成17年)	4,146人	
2010年(平成22年)	3,775人	

総務省統計局 / 国勢調査

# 地方は課題先進地

## <現在と10年後における北海道の集落の姿>

道内集落数：3,747集落

※H25 北海道集落実態調査に基づく集落数

65歳以上の割合が50%以上の集落数の推移

現在

603集落

全体の16.1%

10年後

2,465集落

(想定)

全体の65.8%

抱えている課題の  
顕在化や深刻化

- 冠婚葬祭など日常生活の相互扶助
- バスなど生活交通手段の確保
- 増加する空き家の対策
- 農業など地域産業の担い手不足  
など

集落対策の早急な着手が必要



植林 50 ha × 伐採 60 年  
= 3,000 ha

就労・雇用の確保  
地元製材業者への木材安定供給

# 森林未来都市構想

成功モデルは日本全国、  
そしてアジア各国へ



# NPO法人森の生活の取り組み

森を活かして・・・

1. 地域のなかに向けて  
地域づくりの担い手づくり

無償

2. 地域のそとに向けて  
下川のファンづくり

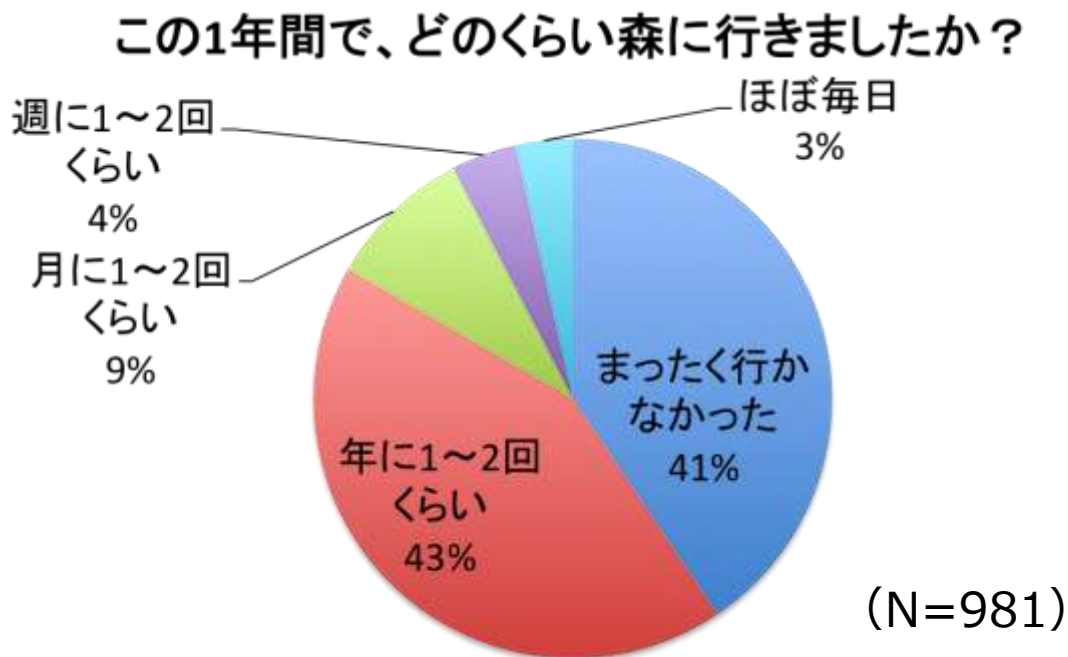
有償



# 子どもたちの森に対する意識①

森林率80%以上の上川管内市町村の小・中学校児童へのアンケートから

森に行く回数が年に2回以下の子どもが約8割



NPO法人 森の生活 「森林に対する意識に関するアンケート」 (2012年) より

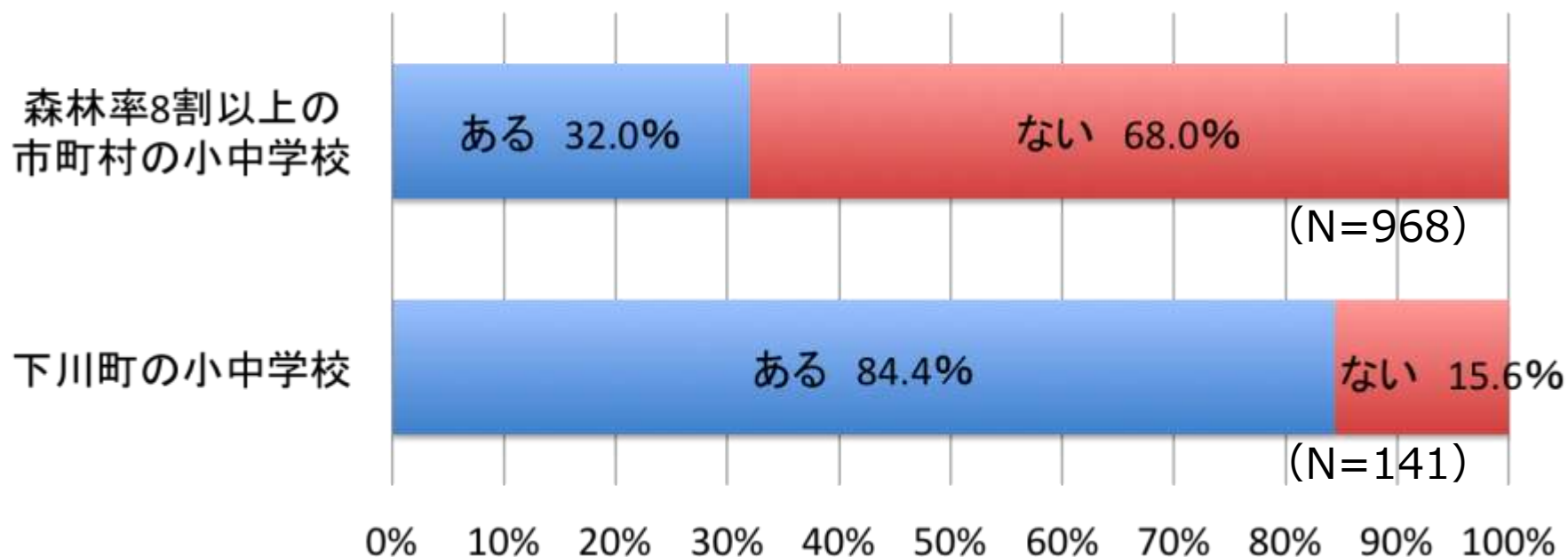


# 子どもたちの森に対する意識②

森林率80%以上の上川管内市町村の小・中学校児童へのアンケートから

約7割の子どもが伐採現場を見たことがない

森の中で木を切り倒しているのを見たことがありますか？

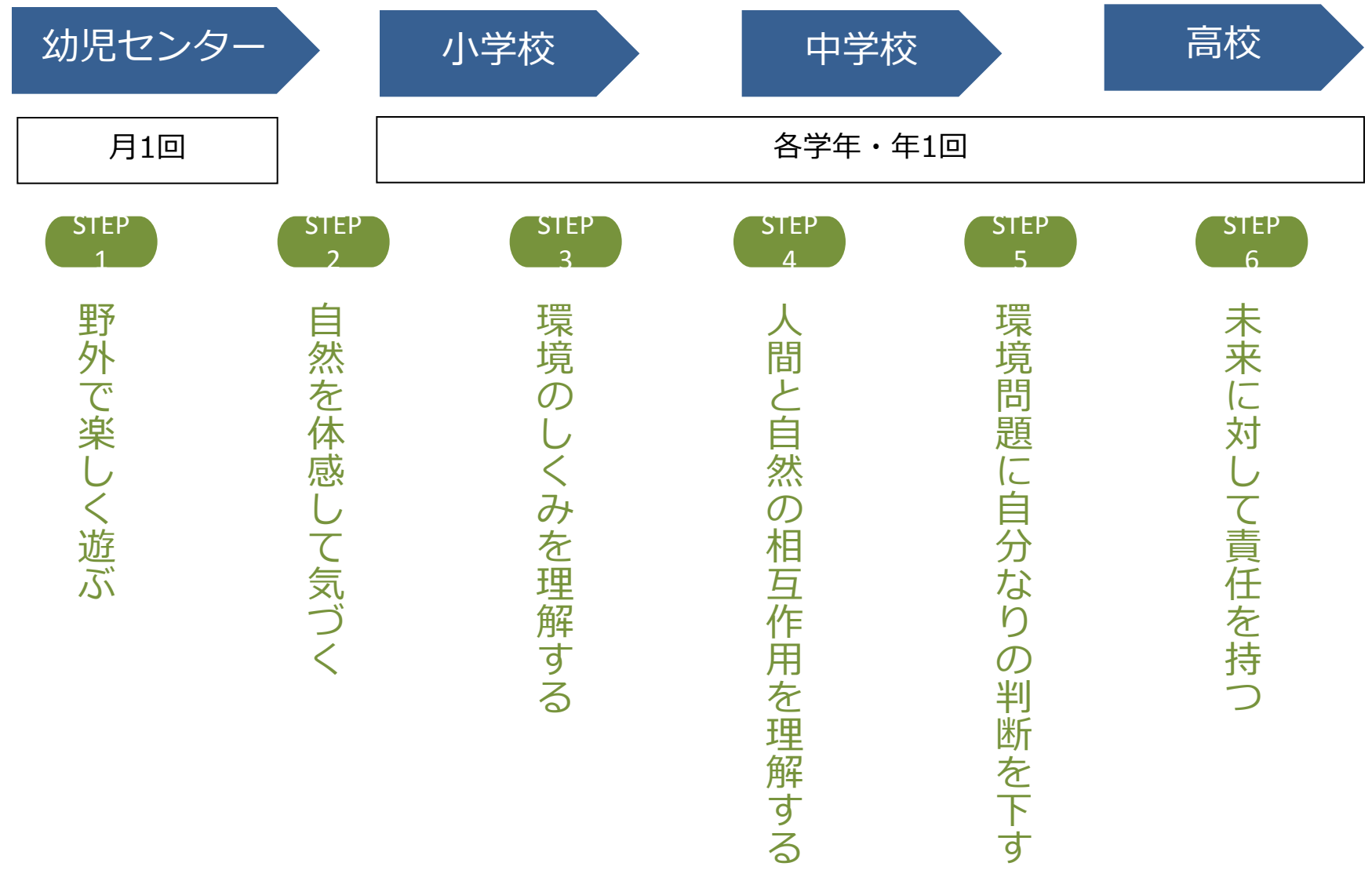


NPO法人 森の生活 「森林に対する意識に関するアンケート」 (2012年) より

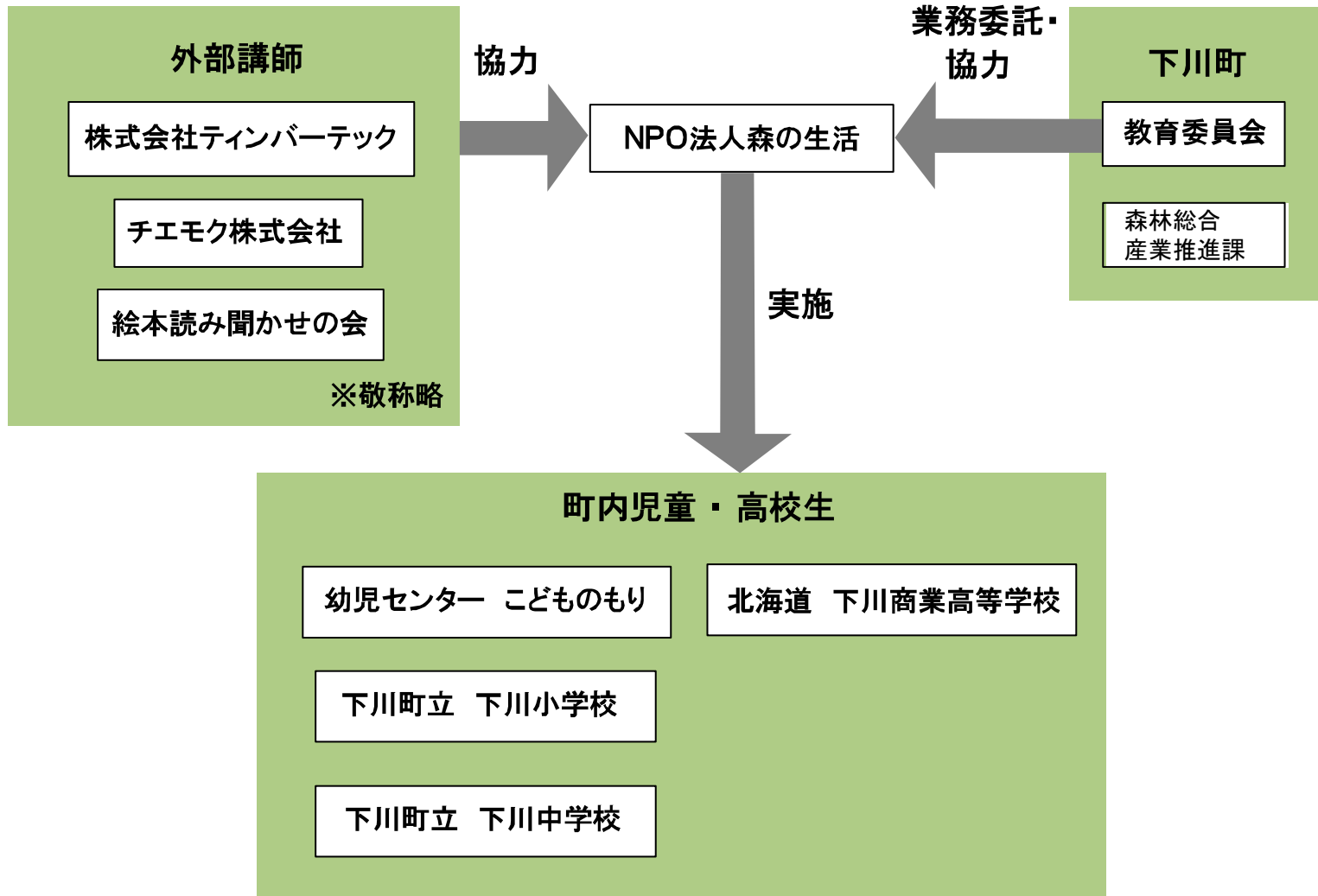


# 幼児～高校15年一貫

## 授業の中で森林環境教育LEAFプログラムを実施



# 実施体制



# 2014年度実績： 29プログラム 延べ1,535人

対象		内容
幼児センター	3～5才	森のあそび × 14回
下川小学校	1年生	お気に入りの木を見つけよう
	2年生	森の生きもの探し
	3年生	樹種と特徴について
	4年生	森林調査と間伐体験
	5年生	植樹祭
	6年生	マイはし作り
下川中学校	1年生	北町工場見学
	2年生	炭材採取
	3年生	植樹祭
	全学年	炭焼き集会、窯開け
下川商業高校	1年生	地域資源の利用
	2年生	学校林の経済的価値、商品開発(白樺、みつろう)
	3年生	植樹祭



# 委託事業を協働事業にするために



## 情報共有会議の開催

(役場関係課、教育委員会、幼・小・中・高の各教育機関、森の生活)

発注者(=町)と受託者(=森の生活)という「二者間の上下関係」から、

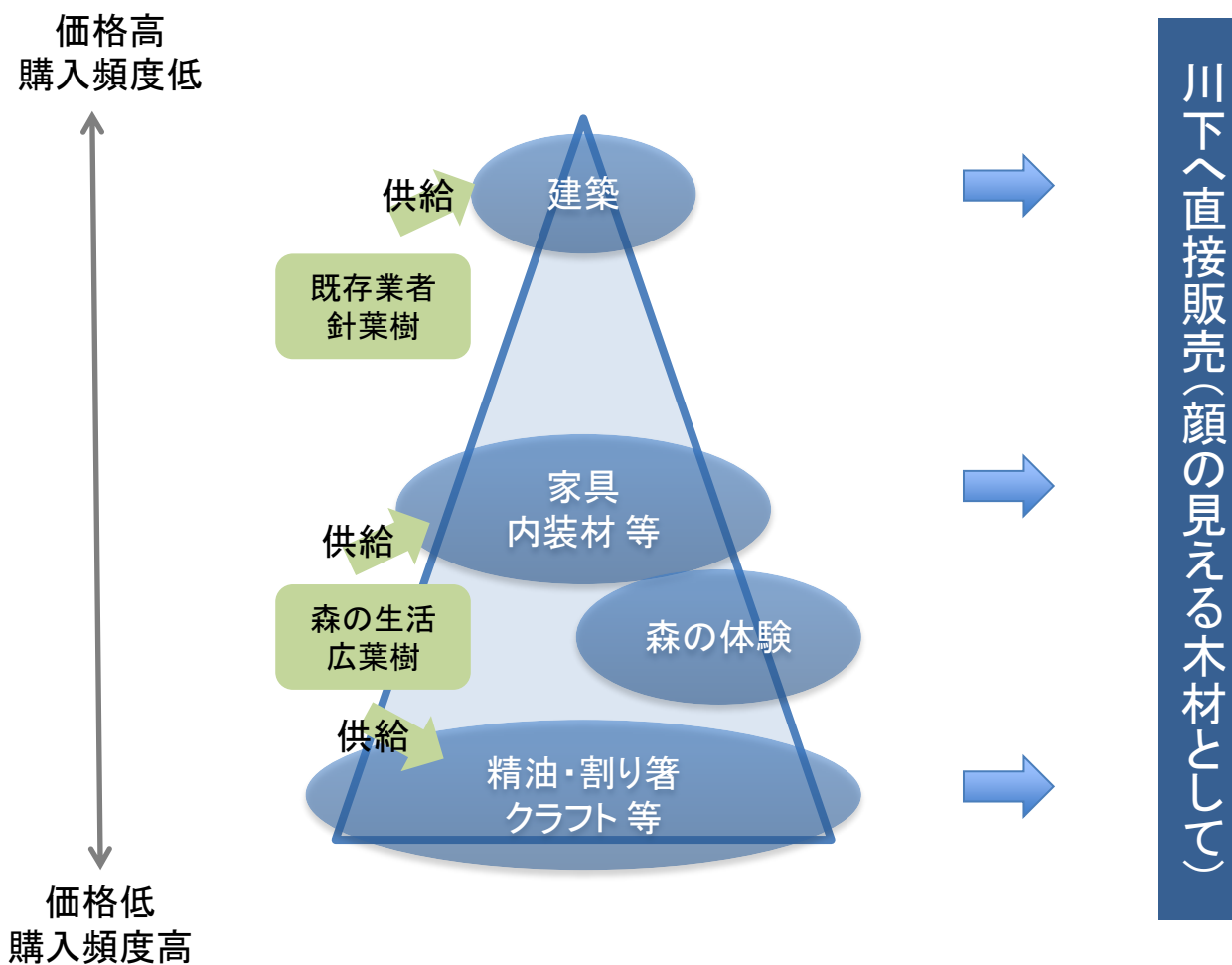
各関係機関それぞれが持ち味を活かしながら責任ある事業の担い手となるような「複数間の水平関係」へ

# 中学校技術教材の開発





# 森を活かした 多様な製品・サービスが生まれる地域へ





ありがとうございました。

